

平成28年1月18日

武雄市長 小松 政 様

武雄市立武雄市民病院移譲先病院評価委員会
委員長 信 友 浩 一

平成26年事業年度の業務実績に関する評価結果

1 評価の方法

武雄市立武雄市民病院移譲先病院評価委員会において新武雄病院の運営状況について評価を行った。評価は、当該法人より提出された平成26年事業年度に係る業務実績報告書をもとに評価の基本方針（平成23年1月24日策定）及び年度評価実施要領（平成23年1月24日策定）により行っている。

評価については、各年度実施する年度評価と目標期間を3年とする中期目標期間評価に大別し、今回は3年次の年度評価を小項目評価、大項目評価及び全体評価で行った。評価手法の概略は次のとおり。

- ・小項目評価 法人による5段階の自己評価と法人からのヒヤリング等を通じて、各委員により評価。
- ・大項目評価 各委員の評価を独立した評価として取り扱い 評点に応じて5段階で評価。
- ・全体評価 中期計画の進行状況全体について総合的に評価。

2 小項目評価

小項目評価の結果を次に示す。各委員において評価にばらつきがあったが、個々の委員の評価を尊重するためそれぞれ独立した評価とした。また、会議の内容及び評価点数を補足するものとして評価コメント等を参考として追記した。

※判定基準

- 5 年度計画を大幅に上回って実施している。
- 4 年度計画を上回って実施している。
- 3 年度計画を順調に実施している。
- 2 年度計画を十分に実施できていない。
- 1 年度計画を大幅に下回っている。

(1) 武雄市民病院事業譲渡契約の履行に関する事項

小項目	小項目細区分	法人評価	委員の評価別人数				
			1	2	3	4	5
救急医療の確保	救急医療の確保	4				4	1
〃	消防との連携強化	4				5	
地域医療機関との連携		4				5	
診療科目、病床数等		4			2	3	
保健医療行政への協力		4				5	
病院の運営に関する意見の聴取等		4				5	
地域住民の意見の聴取		3			5		
病院の継続運営		4				5	

○救急医療の確保

(評価できる点)

- ・地域医療機関との連携が益々充実してきている。

(改善又は要望事項)

- ・今後も地域医療機関と連携を計り、増加するように努力してもらいたい。

○地域医療との連携

(評価できる点)

- ・佐賀大学医学部付属病院、佐賀県医療センター好生館との地域連携パスの導入を評価。
- ・紹介、逆紹介率が、ここ2年は増加している事は良い傾向である。

○診療科目、病床数等

(評価できる点)

- ・限られたベッド数(135床)で良くやっている。

(改善又は要望事項)

- ・常勤医の診療科によるバランスをとること(内科、麻酔科、放射医科の充実を)。

○保健医療行政への協力

(評価できる点)

- ・市民の健康に対する関心が高まり、年々受診者が増え、好ましい結果となっている。

○地域住民の意見の聴取

(改善又は要望事項)

- ・地域評議委員会は、できるだけ回数を重ね実践してほしい。
- ・健康教室の開催が大幅に減ったことは大変残念である。今期は回数と共に内容の充実を図って

もらいたい。

○病院の継続運営

(改善又は要望事項)

- ・症例検討懇話会は、年4回開催を目標にしてください。

(2) 医療サービスの質に関する事項

小項目	小項目細区分	法人 評価	委員の評価別人数				
			1	2	3	4	5
地域医療に必要な高度医療の充実	高度医療の充実	4				5	
	高度医療機器の計画的な更新整備	3			5		
医療スタッフの確保、専門性及び医療技術の向上	医療スタッフの確保	3			3	2	
	専門性及び医療技術の向上	4				5	
より安心して信頼のできる質の高い医療の提供	医療安全対策の徹底	4				5	
	患者中心の医療の実践	3			4	1	
	科学的な根拠に基づく医療の推進	4				5	
法令行動規範の遵守		4				5	
研修研究会を通じた地域医療への貢献		5					5
診療待ち時間の改善等		4				5	
患者・来院者のアメニティの向上		3				5	
患者の利便性向上		3			1	4	
災害時における医療協力		4				5	
市民への保健医療情報の提供・発信		4			1	4	

○医療スタッフの確保、専門性及び医療技術の向上

(評価できる点)

- ・これだけの医療スタッフを確保できたその努力に敬意を表したい。
- ・専門性及び医療技術の向上に対して、積極的に対処しているように伺える。

○より安心して信頼できる質の高い医療の提供

(評価できる点)

- ・主治医をはじめ看護師等スタッフの対応は素晴らしく、術後のリハビリにおけるPT、OTの接遇も申し分のないものであった。

(改善又は要望事項)

- ・安全対策は、マンネリ化にならないように、常に向上心を持って実行してください。
- ・患者からの意見箱（問合せ、クレーム、要望など）の設置を。

○研修研究会を通じた地域医療への貢献

(改善又は要望事項)

- ・質の高い医療を提供する上において、継続的に実施してほしい。

○診療待ち時間の改善等

(評価できる点)

- ・開設時と比較してかなり改善され、短縮されている。予約制度導入による待ち時間は大幅に解消されているようです。

○患者・来院者のアメニティの向上

(評価できる点)

- ・患者への目配り、気配り等、接遇については、以前より数段の進歩が見られる。一階のフロントにおいても初めての患者においても、迷うことなく受診できている。

(3) その他

小項目	小項目細区分	法人 評価	委員の評価別人数				
			1	2	3	4	5
経営の効率化	法人としての運営管理体制の確立	4				5	
	業務執行体制の見直し	4				5	
	職員の職務能力の向上	4				5	
	収入の確保と費用の節減	4				5	
当該医療圏での不足医療の把握		3			5		
地域貢献		4				5	

○経営の効率化

(評価できる点)

- ・PDCAサイクルがうまく回っている様子が伺える。

(改善又は要望事項)

- ・過剰在庫をしない徹底した在庫管理により無駄な経費の削減に徹するよう。

○当該医療圏での不足医療の把握

(改善又は要望事項)

- ・近隣の医療機関や施設との連携を根気よく続けていって欲しい。

3 大項目評価

大項目評価については、各委員の小項目の評価結果を集計し、その評価点数に応じて中期目標・中期計画の達成に向けた業務の進捗状況について評価した結果、次表のとおりとなった。

【判定基準】

- 「特筆すべき進捗状況」 中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
(評価委員会が特に認める場合)
- 「計画どおり」 中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおり進んでいる。
(すべての項目が5～3)
- 「おおむね計画どおり」 中期目標・中期計画の達成に向けておおむね計画どおり進んでいる。
(5～3の割合が9割以上)
- 「やや遅れている」 中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。
(5～3の割合が9割未満)
- 「重大な改善事項あり」 中期目標・中期計画の達成のためには重大な改善事項がある。
(評価委員会が特に認める場合)

大項目	小項目 評価数	各委員の小項目評価結果					大項目評価
		1	2	3	4	5	
武雄市民病院事業譲渡契約の履行に関する事項	8	0	0	7 (17.5%)	32 (80.0%)	1 (2.5%)	計画どおり
医療サービスの質に関する事項	14	0	0	14 (20.0%)	51 (72.9%)	5 (7.1%)	計画どおり
その他 (経営の効率化、当該医療圏での不足医療の把握、地域貢献)	6	0	0	5 (16.7%)	25 (83.3%)	0	計画どおり

(1) 武雄市民病院事業譲渡契約の履行に関する事項

昨年度に引き続き中期目標・中期計画の達成に向けて「計画どおり進んでいる」との評価となった。「救急医療の確保」の項では、逆紹介患者数が伸びており、地域医療機関との連携が充実していると評価した。

(2) 医療サービスの質に関する事項

昨年度に引き続き中期目標・中期計画の達成に向けて「計画どおり進んでいる」との評価となった。「診療待ち時間の改善等」の項では、開設時と比較してかなりの改善の様子が伺われ、今後

もさらなる努力を期待する。

(3) その他（経営の効率化、当該医療圏での不足医療の把握、地域貢献）

昨年度に引き続き中期目標・中期計画の達成に向けて「計画どおり進んでいる」との評価となった。ただし、「当該医療圏での不足医療の把握」については、今後も近隣の医療機関や施設との連携を続けられたい。

4 全体評価

昨年度と同じく、大項目については、それぞれ「計画どおり（評価4）」との評価とした。

ただし、今後の地域包括医療システムを鑑み、地域の実情に即した診療科の再編や常勤医師の確保、病床の活用の検討に努められたい。

また、地元の方にさらに新武雄病院を知ってもらえるような取り組みを行っていただきたい。

本会の評価結果について、真摯に対応し、課題の改善へ努力されている新武雄病院の姿勢は大いに評価するとともに、課題点の改善に期待したい。